

## 令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	51	学校名	静岡県立島田商業高等学校	校長名	増田 章江
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	今年度の取組と次年度の課題
ア	（ア） 事故、いじめのない学校作り	相談できる教職員が校内にいる生徒 80% コミュニケーション能力が高まった生徒 80% S S T年 3回実施	相談できる教職員が校内にいる（生徒）：100% 信頼できる教職員がいる（保護者）：100% コミュニケーション能力が高まった（生徒：92.3%）。 S S T年 3回実施。	A	○少ない教職員であるが、コミュニケーションを図りながら組織的な相談体制を構築できた。 ☆生徒と教職員が良い距離感ではあるが、はじめ等も身に付けるような環境も整えたい。
		防災訓練により防災意識が高まったと答える生徒 80%	HUGを実施した。防災意識が高まった・やや高まったと回答した生徒が 100%	A	○不審者対応訓練も行った。 ☆来年度も引き続きHUGを実施したいが、本校生徒に合った内容にカスタマイズしたい。
		ネットに起因するトラブル0 保護者面談やメール配信において、情報モラルや生徒に関する危険情報を提供	学校外部のチェック機能からのトラブルはゼロだった。スマホの使い方等については、全校集会等で注意を実施。	A	☆授業中でスマホを使っている生徒が若干見られるようであり、あいまにせず、スマホ利用のルールを守ることを理解させていく必要がある。
	（イ） 特別支援体制の充実	生徒や家庭からの相談に丁寧に対応する学校と答える生徒保護者各 80% 人権感覚チェックシートの年 3回実施	生徒や家庭からの相談に丁寧に対応する（生徒保護者各 100%）。 人権感覚チェックシートの各学期で実施。	A	○ハラスメント等に関連する問題も発生しなかった。 ☆生徒・保護者と教職員が良い距離関係が出来上がっているため、来年度もコミュニケーションを図っていききたい。
		研修が効果的であったと答える教員 100%	研修が効果的であったと答える教員 100%	A	○定期的に研修を実施できた。 ☆合理的配慮実施が2年目となるため、フィードバックしながら配慮を高めたい。
イ	（ア） 生徒の基礎学力向上	ICT 機器を活用するなど、教え方や教材に工夫があると答える生徒 80% ICT 機器を活用した授業や授業準備のための研修 3回	ICT 機器を活用するなど、教え方や教材に工夫があると答える生徒 100% 教育委員会からの通達の際には、研修を実施。	A	○少ない教職員での効率性を高めるため、DX化も進めた。 ☆教職員の減少とともに講師等が増える可能性も高いため、AI活用も含め、業務等のスリム化につながるICTの利用と能力向上したい。

様式第3号

イ		授業は自分の学力を伸ばすのに役立つと答える生徒 80% 基礎学力を定着させる補習等に参加生徒 60%	授業は自分の学力を伸ばすのに役立つと答える生徒 92.3% 基礎学力を定着させる補習に頑張った生徒 100%	A	○毎学期、公開授業週間も行き、授業改善に努めた。 ☆学力の伸びを感じている生徒が多いため、引き続き高めたい。補習等は、生徒の学力の伸長に合わせて実施をよく吟味する必要がある。
		基礎力診断テストの結果が伸びた生徒 60%	基礎力診断テストの結果が伸びた生徒 100%	A	○長期休業中、基礎課題を実施。 ☆定時制生徒の学力を有効に測ることのできる教材を検討する。
	(イ) 商業に関する知識・技能の習得	各種検定合格率 50%	全商簿記3級 1/1名、2級 1/3名、実用英検準1級 1/1名	A	○来年度は検定に直接つながる授業が無いが、生徒の課題研究につながる受験をうながしたい。
		商業に関する専門的な知識・技能を習得した生徒 90%	商業に関する専門的な知識・技能を習得した生徒 100%	A	○0時間目に商業補講等も実施。 ☆課題研究の授業を核にして、簿記等の学びを深めさせたい。
ウ	(ア) 基本的な生活習慣の確立	自ら挨拶ができ、言葉遣いに気を付けている生徒 90%	自ら挨拶ができ、言葉遣いに気を付けている生徒 100%	A	○訪問者からも挨拶等で評価。 ☆来年度も引き続き維持したいが、生徒が状況に合わせた振る舞いができるようにもしたい。
		欠席、遅刻、早退数が昨年度より減少している生徒 80%	欠席・遅刻・早退が昨年度より減少した生徒 43% 学期皆勤・学年皆勤とも 1名ずつ増加	B	○組織的に対応したが、特定の生徒の改善に繋がらなかった。 ☆特定の生徒の欠席が多いため、保健室・SC・教員間の連携を高めて、体調管理・メンタルコントロール能力を高めたい。
		提出物の期限を守っている生徒 80%	提出物の期限を守ることができた生徒 77%	A	○昨年度から改善する生徒が多く見られた。 ☆一部の生徒が提出できないことが多く、指導の工夫が必要。
	(イ) 健康増進のための取り組み	健康診断受診率 100% 要再検査生徒の受診率 50%	健康診断受診した生徒 96%、要再検査を受診した生徒 7.6%	B	○要再検査受診に繋げることが出来なかった。 ☆欠席・遅刻にもつながるため、追跡調査を充実し、健康管理意識を高めたい。
エ	(ア) 法令に基づいた適正・迅速な業務遂行	人為的要因による学校経営予算の執行残 0	人為的要因による学校経営予算の執行残ゼロ	A	○問題なく業務を進めた。 ☆来年度は閉課程となるため、今年度以上に意識を高めたい。
		監査・会計指導での指摘事項 0	監査・会計指導での指摘事項ゼロ	A	☆事務業務の集中管理もあり、教職員全体の意識を高めたい。
	(イ) ワークライフバランスを意識した業務執行	改革と閉課程を意識した業務の見直し、平準化	生徒の満足度を下げることなく業務のスリム化や閉課程に向けた基本的な準備を進められた。	A	☆来年度は閉課程となるため、事務や外部機関・管理職間の連携を高める必要がある。